

## 「環境保全型農業直接支払交付金」支援対象技術



### カバークロープ(ヘアリーベッチ) の活用について

- ・カバークロープの取組は、標準播種量以上に播種し、適正な栽培管理を行った上で、全量をすき込むことが要件となっています。
- ・これを満たさない場合は、環境保全型農業直接支払交付金の対象となりません。
- ・適正な栽培管理が行われているかどうかを、カバークロープがほ場の概ね8割以上を覆っていることとして、原則として4月以降に確認し判断します。

#### ① ほ場準備

- ・早めに排水溝を切り、水尻につなげる等、麦作と同様の排水対策を行います。

#### ② は種・覆土

10月上旬～11月上旬

- ・播種および覆土作業は、必ずほ場が乾いている時に行います。
- ・10アール当たり3～4kg 播種します(遅まきは多めに)。品種によっては播種量が異なりますのでカタログ等で播種量を確認して播種しましょう。
- ・湿田では播種量を増やします。

※ヘアリーベッチの生育にムラがあると、水稻の生育ムラにつながりますので、播種ムラが無いように均一に播種しましょう。

- ・播種後にトラクタ等で軽く覆土します。



「ヘアリーベッチ」の  
種子



動噴での播種作業



播種後の覆土作業

### ③すき込み

4月中旬頃

・すき込みは草丈が30cm程度までで、花が咲くまでに行います。生育が良い場合は早めにすき込みます。

・地上部の生重が50cm四方枠で600～800gを目安とします(約2～3t/10a)。

・草丈が40cmを超えるとロータリ軸にからまりすき込みなくなります。フレールモアで細断するときれいにすき込みます。

・トラクタの速度を低速にし、丁寧な耕うんをおこないます。

ロータリの回転を遅くして、  
ゆっくりと、浅めにすき込みます。



すき込み時期判断のための  
生草重調査



すき込み作業  
(トラクタで2回耕耘)

## ヘアリーベッチ跡水稻栽培の注意点

○入水：「ヘアリーベッチ」のすき込みから7～10日間程度開ける。

(すき込み量が多い場合は長く空ける。)

草丈が40cmを超える量となった場合は、すき込みから入水までの期間を2週間以上とする。

○田植え：入水から1週間以上空け、60～70株で植付ける。

○基肥・追肥：原則施用しない。

○ガス発生抑制：ガス湧きが見られる場合は、早めに軽く干す。

○中干し：目標の茎数が確保できたら、2週間以上行う。

○穂肥：葉色を見て判断する。

初めてカバークロープに取り組まれる場合には、管轄の農業農村振興事務所農産普及課までご相談ください。